

街路事業の再評価概要書

() は、当初計画時

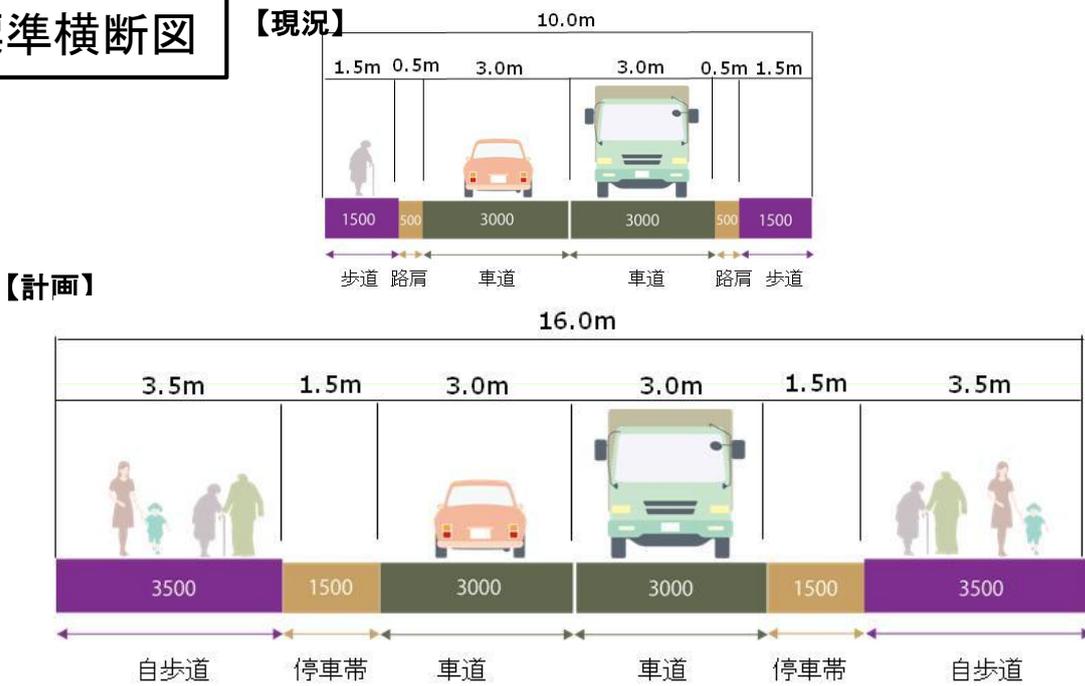
番 号		2		
事業主体		栃 木 県		
事業名	街路づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課
路線・河川名	大田原都市計画道路 3・4・2号 <small>にしなすのせん</small> 西那須野線外1路線		事業箇所名	<small>おおたわらし ちゅうおう</small> 大田原市 中央
事業区間	<small>おおたわらししんとみちよう</small> 大田原市新富町 ~ <small>すみよしちよう</small> 住吉町		事業延長	1,002m
H21年度事業化	S33年度都市計画決定 (H20年度変更)		H21年度用地着手	H24年度工事着手
事業期間	(H27) H21 ~ H30		事業進捗状況	基準年次：【平成27年度末時点】 進捗率
(うち用地補償費)	[26.1 (26.0)億円]		[うち用地補償費]	[26.0 億円] [99%]
全体事業費	38.8 (40.0)億円		既投資事業費	38.5 億円 99%
事業概要				
<p>本都市計画道路は、大田原市中心部を基点とし、隣接する西那須野地区の市街地を結ぶ、都市の骨格を形成する道路である。</p> <p>本事業区間は、国道461号との交差点部（<small>かなどうろう</small>金燈籠交差点）から市道との交差点部（住吉町交差点）までの1,002m区間であり、商店が密集し、近くには大田原小学校、大田原女子高校、大田原高校があることから、通勤通学時間帯には歩行者自転車及び自動車の交通量が多い区間である。</p> <p>しかしながら、現況歩道は1.5mと非常に狭い上、電柱もあることから、自動車と歩行者自転車が錯綜し、非常に危険な状況にある。また、金燈籠交差点はクランク形状となっており、渋滞が発生している。</p> <p>さらに、周辺エリアは大田原市の中心市街地であることから、商業の活性化と市街地の改善を図るため、地元商店街等や市が協働して中心市街地活性化基本計画を策定して、ソフト・ハード様々な施策を展開しており、本事業区間はその中軸となる重要な路線である。</p> <p>このため栃木県は、現道拡幅と電線類地中化を実施することにより、安心安全な道路通行空間を創出し、円滑な通行を確保すると共に、沿道商店街の賑わいを取り戻し、中心市街地活性化を支援するものである。</p>				
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変更等				
都市計画法に基づく事業認可期間の延伸				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
1) 事業全体	B/C = 1.5	63.4億円	42.0億円	
2) 残事業	B/C = 5.3	4.8億円	0.9億円	
② 事業の整備効果等		<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な道路通行空間の創出 ・中心市街地活性化 ・交通の円滑化 ・都市景観の向上と都市防災機能の強化 		
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年12月に金燈籠交差点を供用開始。 ・用地取得済の区間から順次工事を推進している。 				
② 今後の事業進捗の見込み				
<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得を推進し、平成30年の完成供用を図る。 				
コスト縮減等				
① コスト縮減方策				
<ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト縮減 				
② 代替案立案等の可能性				
<ul style="list-style-type: none"> ・すでに大部分の工事が完了予定であり、本計画が最適である。 				
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図・概要図)

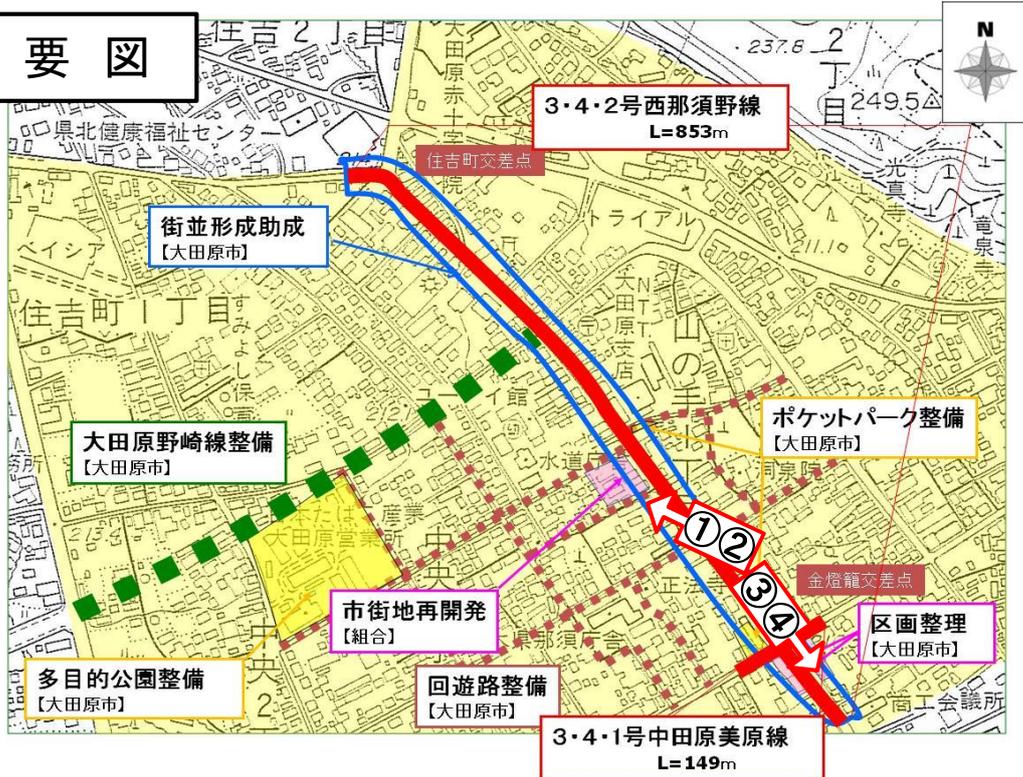
位置図



標準横断図



概要図



①整備前 渋滞状況



②整備後 トコココ大田原周辺



③整備前 金燈籠交差点



④整備後 金燈籠交差点

